

件名	多摩都市モノレールまちづくり推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
269,742		0	0	0	1,033	268,709

【事業の背景・目的】

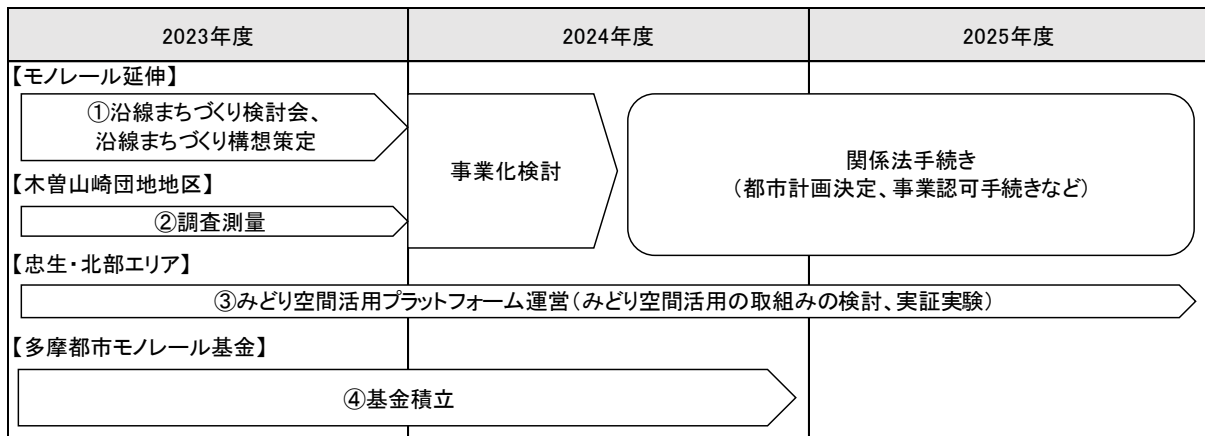
Ⅱ 部別予算概要説明書 243、249 ページ

多摩都市モノレール町田方面延伸の事業化に向けて、東京都や多摩都市モノレール株式会社との調整を進めるとともに、モノレール延伸の効果を最大限発揮するためのモノレール沿線まちづくりの検討を、多摩市と協働で進めていきます。また、「町田市都市づくりのマスタープラン」で掲げる暮らしとまちのビジョン実現に向けて、モノレール沿線の木曾山崎団地、忠生・北部エリアのまちづくりを具体化していきます。

【事業の内容】

- ① 学識経験者、町田市、多摩市で構成する「多摩都市モノレール町田方面延伸 沿線まちづくり検討会」を実施し、モノレールの需要創出に資する沿線まちづくりの構想を策定します。
- ② モノレール沿線の木曾山崎団地地区では、マスタープランに掲げる「住宅地を多機能化する」ことを目指し、地域交通ネットワーク構築に関する基盤検討に必要な調査測量を行います。
- ③ モノレール沿線の忠生・北部エリアでは、マスタープランに掲げる「みどりと暮らしの関係をつくる」ことを目指して、公園、緑地、農地及び里山などみどり空間を活用するためのプラットフォームの運営と持続化に向けた検討、必要な基盤（体制や財源など）に関する調整を進めます。
- ④ モノレール新駅周辺の基盤整備等に向けて、基金を計画的に積立てます。

【スケジュール】



【主な事業費】

- | | |
|---------------------------|------------|
| ① モノレール沿線まちづくり検討委託料 | 2,500 千円 |
| ② 木曾山崎団地地区調査測量委託料 | 3,500 千円 |
| ③ みどり空間活用プラットフォーム運営等業務委託料 | 5,000 千円 |
| ④ 多摩都市モノレール基金積立金 | 251,033 千円 |

【特定財源】

- | | |
|--------------------|----------|
| ④ 多摩都市モノレール基金積立金利子 | 1,033 千円 |
|--------------------|----------|



問合せ先	都市づくり部 都市政策課多摩都市モノレール推進室長 柘植野 公園緑地課長 新	電話	724-4077 724-4397
------	---	----	----------------------

件名	中心市街地開発推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
30,924		0	0	0	0	30,924

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 245 ページ

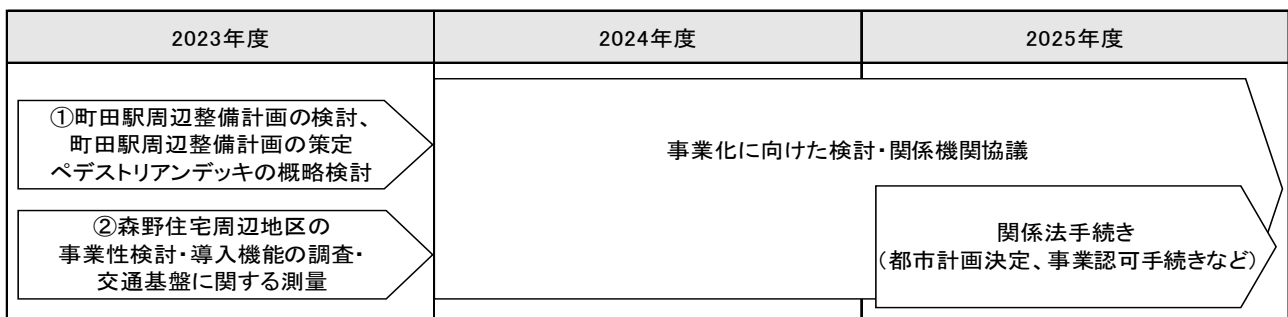
中心市街地がこれから先、周辺都市に埋没せず選ばれ続けるため、2016年7月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」や2022年3月に策定した「町田市都市づくりのマスタープラン」に基づく取組を具現化し、個性ある店舗や魅力あふれる商店街などの今ある町田らしい資源を活かしながら、多様な魅力を持つまちへと転換していく必要があります。

そのために、多摩都市モノレールの新たな起終点となることも踏まえ、老朽化した駅周辺施設の更新や駅の近くにも関わらず土地の高度利用ができていないエリアの活用、快適な乗換動線の確保、まちなかとの回遊性の向上、居心地の良い駅前空間づくりなどの実現を目指し、中心市街地の開発を推進していきます。

【事業の内容】

- ① 町田駅に近接する街区の都市機能の更新や、交通ターミナル機能の集約、ペDESTリアンデッキなど歩行者空間の整備といった交通基盤の強化に向けて、学識経験者やまちづくりの関係者、事業者などの意見を伺いながら、町田駅周辺開発の共通指針となる「町田駅周辺整備計画」の策定を目指します。
- ② 森野住宅周辺地区のまちづくりを具体化させるため、2022年12月に策定した「森野住宅周辺地区まちづくり構想」でめざすまちの姿の実現に向けて、事業性検討や導入機能の調査、交通基盤に関する測量を行います。

【スケジュール】



【主な事業費】

- ①町田駅周辺整備計画策定支援委託料 10,000 千円
- ①ペDESTリアンデッキ概略検討委託料 4,500 千円
- ②森野住宅周辺地区事業性検討委託料 9,000 千円
- ②森野住宅周辺地区導入機能検討調査委託料 4,500 千円
- ②森野住宅周辺地区交通基盤調査測量委託料 2,250 千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 荒木	電話	724-4214
------	--------------------	----	----------

件名	中心市街地活性化推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
63,283		12,300	1,382	29,000	0	20,601

Ⅱ 部別予算概要説明書 215 ページ

【事業の背景・目的】

市では、中心市街地の賑わいや交流に溢れるまちの実現を目指し、「町田駅周辺地区都市再生整備計画」を推進しています。

2022年度は、原町田大通りにまちなかの賑わい、憩いの場となる滞留空間等を整備するための設計を行い、都市再生推進法人※(2019年9月指定)である(株)町田まちづくり公社とともに、滞留空間の運用を検討するための社会実験を実施しました。

2023年度から2024年度にかけて、原町田大通りの歩道を拡幅し、滞留空間を整備することで、原町田大通りに新たな憩いと賑わいの空間を創出するとともに、商店街の賑わい向上につなげます。

※都市再生推進法人とは、都市再生特別措置法に基づき、地域のまちづくりを担う法人として、市が指定した法人です。



原町田大通り



2022年度社会実験で設置した滞留空間の様子

【事業の内容】

2024年度のオープンに向けて、原町田大通り滞留空間等整備工事に着手します。

【スケジュール】

項目	2023年度		2024年度	
	上期	下期	上期	下期
滞留空間等整備工事	関係機関協議、地域関係者等説明			
	設計・デザイン修正	滞留空間等整備工事		滞留空間オープン

【主な事業費】

原町田大通り滞留空間等整備工事費 48,300 千円
 (2023～2024年度債務負担行為事業 総事業費 120,700 千円)
 滞留空間利活用推進事業負担金 5,894 千円

【主な特定財源】

社会資本整備総合交付金(国 1/2) 12,300 千円
 原町田大通り滞留空間等整備事業債 29,000 千円

問合せ先	経済観光部 産業政策課長 村上	電話	724-3296
------	-----------------	----	----------

件名	小田急多摩線延伸促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,500		0	0	0	0	8,500

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 247 ページ

小田急多摩線の唐木田駅から上溝駅への延伸については、2016年4月に国土交通省の交通政策審議会の答申において、『「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のあるプロジェクト』とされました。本事業が実現すると、首都圏南西部の交通ネットワークの拡充が図られ、地域の交通利便性が飛躍的に向上します。さらに、まちづくりの促進や地域経済・産業、住民間交流の活性化に大きく寄与します。

町田市及び相模原市をはじめとする関係者で構成する「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」においては、現在、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向けた検討を行っています。

【事業の内容】

2022年度に引き続き、延伸の早期実現を目指して、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向け、関係機関との調整・協議を進めるとともに、相模原市と共同でハード面の調査検討や需要予測の試算等、必要な調査検討等を実施します。



【事業費】

小田急多摩線共同調査負担金 8,500 千円

問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 北川	電話	724-4260
------	--------------------	----	----------

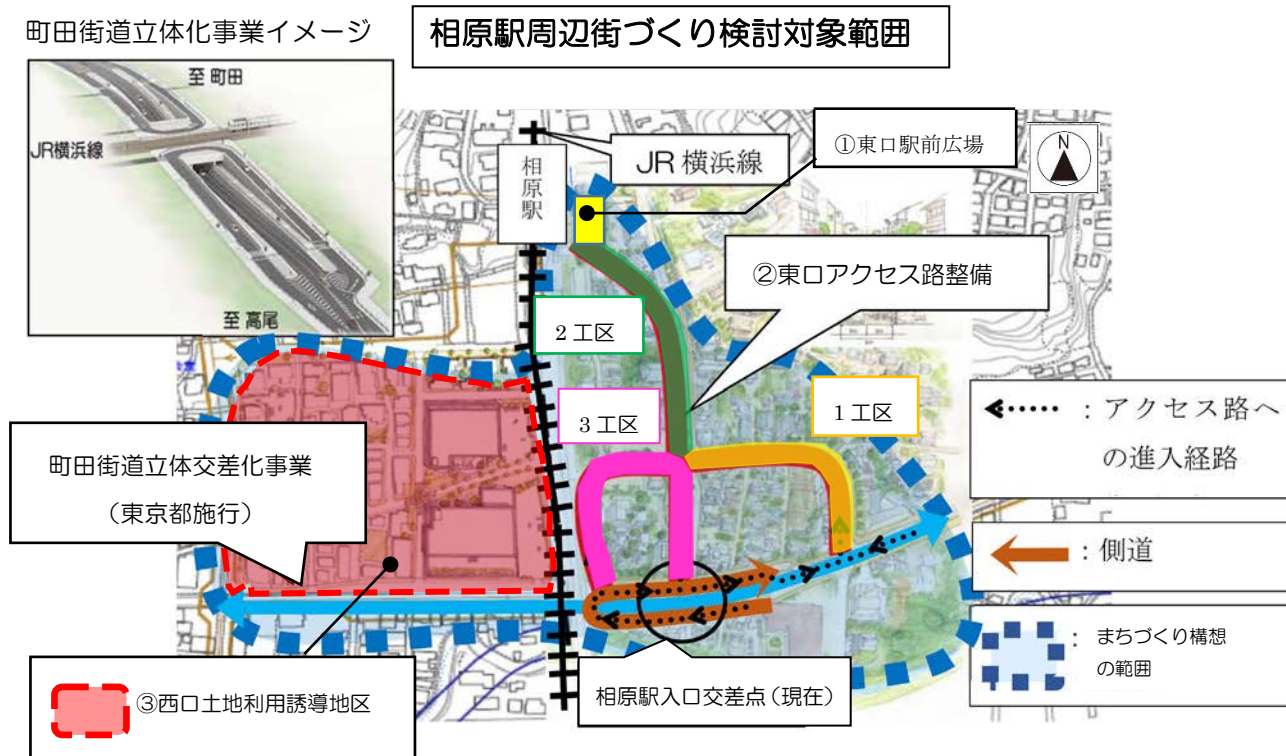
件名	相原駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
736,210		0	313,300	344,000	0	78,910

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 235、245 ページ

相原駅に隣接するJR横浜線の大戸踏切については、東京都が町田街道立体化事業を進めており、駅東口においては、町田街道から東口駅前広場への新たなアクセス路の整備等が必要となっています。また、「町田市都市づくりのマスタープラン」においては、相原駅周辺を地域の生活を支える「生活拠点」に位置付け、市内外の人が集い、自然や歴史・文化に触れながら学び楽しめる拠点を目指すこととしています。

この実現を図るため、市では、地域の方々とともに2014年に「町田市相原駅西口まちづくり構想」、2020年に「町田市相原駅東口まちづくり構想」を策定し、生活拠点の形成に向けたまちづくりを進めています。



【事業の内容】

- ① 東口駅前広場に接する地権者や関係者と駅前街区の再編整備に向けた協議を進めます。また、東口駅前広場の予備設計及び地質調査を行います。
- ② 町田街道から駅東口への新たなアクセス路の整備(用地取得等)を進めます。
- ③ 西口土地利用誘導地区の地権者や関係者の意向確認を行い、土地利用に関する勉強会を実施します。

【スケジュール】

	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年	2027 年度以降
①東口駅前街区	整備手法検討		駅前広場・駅前街区再編整備		
	駅前広場予備設計・地質調査	駅前広場詳細設計			
②東口アクセス路	用地取得(1工区)	整備工事(1工区)			
	用地取得(2・3工区)		整備工事(2・3工区)		
③西口土地利用誘導地区	勉強会・地権者検討会		事業手法の深度化	事業計画案の作成	都市計画変更・事業計画決定

【主な事業費】

①③ 街づくり支援委託料	4,500 千円
① 設計委託料(駅前広場)	6,057 千円
① 調査等委託料(駅前広場地質調査)	5,573 千円
② アクセス路物件等補償料	554,111 千円
② アクセス路用地購入費	148,628 千円

【特定財源】

② 道路橋梁費補助金(都 1/2)	313,300 千円
② 道路整備事業債	344,000 千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 荒木	電話	724-4214
	道路部 道路整備課長 市川		724-1122

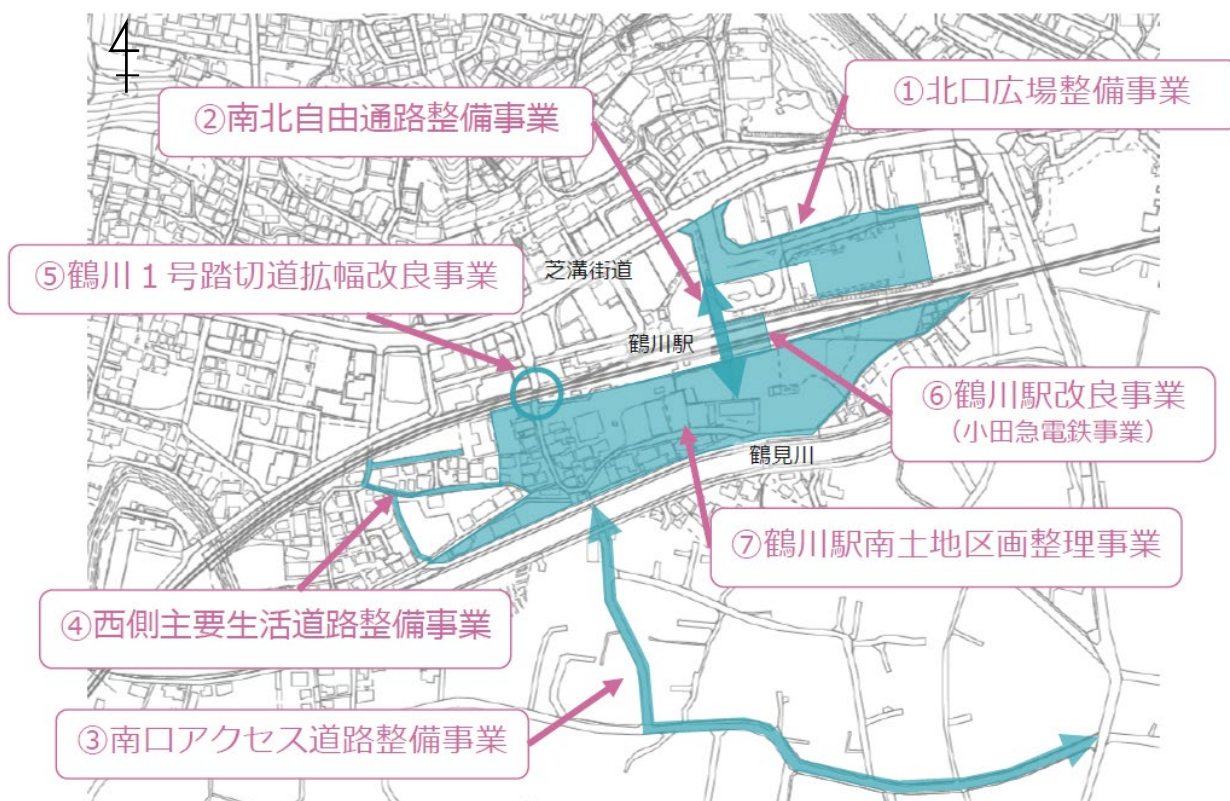
件名	鶴川駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）		国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
一般会計：1,258,311	財源内訳	105,407	380,933	505,000	0	266,971
特別会計：434,064		3,000	3,000	30,000	0	398,064

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 237、245、251 ページ

鶴川駅周辺は、2016 年度に策定した「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づき、道路や駅前広場などの再編により、安全で便利な交通結節機能を向上させ、商業施設や文化交流施設、住宅などが集積した賑わいある都市拠点を目指すこととしています。2023 年度は、北口広場、南北自由通路、土地区画整理事業等の都市基盤整備を推進します。

・事業実施場所



○一般会計

【事業の内容】

- ① 北口広場整備事業(2020 年度 11 月事業認可取得)は、2022 年度に引き続き広場の整備工事及びバスシェルターの設置工事を行います。
- ② 南北自由通路整備事業(2022 年度 8 月事業認可取得)は、事業用地の取得及び小田急電鉄(株)に委託し、支障移設や工事に必要な通路等の仮設工事を行います。
- ③ 南口アクセス道路整備事業は、用地取得及び整備工事に着手します。
- ④ 西側主要生活道路整備事業は、地権者との協議を経て用地測量や予備設計を行います。
- ⑤ 鶴川1号踏切道拡幅改良事業は、2022 年度に引き続き小田急電鉄(株)に委託し、整備工事を行います。
- ⑥ 鶴川駅改良事業(事業者・小田急電鉄)は、工事に必要な通路等の仮設工事を実施するため、小田急電鉄へ補助金を支出します。

【スケジュール】

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
①北口広場整備事業	整備工事（2024年度仮使用開始）					★ 使用開始
②南北自由通路整備事業	事業認可取得	整備工事（支障移設・仮設工事含む）				★ 使用開始
		用地取得				
③南口アクセス道路整備事業	用地測量		用地取得			
	詳細設計				整備工事	
④西側主要生活道路整備事業	意向調査	予備設計	詳細設計	用地取得		整備工事
		用地測量				
⑤鶴川1号踏切道拡幅改良事業	関係者協議	拡幅工事				
⑥鶴川駅改良事業	関係者協議	整備工事（支障移設・仮設工事含む）				★ 橋上駅舎 使用開始

【主な事業費】

- ① 北口広場整備工事費 285,748 千円
- ② 整備等負担金（支障移設） 205,567 千円
（2023～2028年度債務負担行為事業 総事業費 3,336,012 千円）
- ③ 南口アクセス道路用地購入費 156,136 千円
- ③ 南口アクセス道路物件移転補償費 105,000 千円
- ③ 南口アクセス道路工事費 4,603 千円
- ④ 西側主要生活道路用地測量委託料 8,380 千円
- ④ 西側主要生活道路予備設計委託料 2,943 千円
- ⑤ 整備等負担金（整備工事） 220,000 千円
（2022～2024年度債務負担行為事業 総事業費 395,373 千円）
- ⑥ 鶴川駅改良補助金 13,899 千円
（2023～2028年度債務負担行為事業 総事業費 2,298,868 千円）

【主な特定財源】

- ① 防災・安全交付金（国 1/2） 27,586 千円
- ① 地域福祉推進包括補助事業費補助金（都 1/2） 60,000 千円
- ①② 都市計画費補助金（都 1/4） 41,003 千円
- ② 防災・安全交付金（国 1/2） 54,421 千円
- ③ 道路橋梁費補助金（都 1/2） 117,510 千円
- ⑤ 道路橋梁費補助金（都 1/2） 99,720 千円

○特別会計

【事業の内容】

⑦ 鶴川駅南土地区画整理事業(2019 年度 3 月事業認可取得)は、地権者協議、建物等移転、整備工事を行います。

【スケジュール】

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
⑦ 鶴川駅南土地 区画整理事業	換地設計 用途地域変更等	地権者協議	建物等移転・整備工事			

【主な事業費】

⑦ 鶴川駅南土地区画整理事業

土地区画整理事業委託料 406,693 千円

(2020～2031 年度債務負担行為事業 総事業費 5,653,845 千円)

【特定財源】

⑦ 社会資本整備総合交付金(国 1/2) 3,000 千円

⑦ 都市再生土地区画整理補助金(都) 3,000 千円

⑦ 都市計画事業債 30,000 千円



【鶴川駅南土地区画整理事業イメージ図】

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 荒木 道路部 道路整備課長 市川	電話	724-4214 724-1122
------	-------------------------------------	----	----------------------

件名	野津田公園スポーツの森整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
257,883		0	22,000	142,000	21,630	72,253

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 249 ページ

「自然の中で楽しむ総合スポーツパーク」を目指した「第二次野津田公園整備基本計画(2014 年度策定)」に基づき、競技スポーツから健康スポーツまで幅広い活動やみどりを活かした自然のふれあい活動、さらには多様なレクリエーションが楽しめる公園づくりを推進してきました。

今後はさらに、総合公園にふさわしい、子どもの遊び場を含むパークセンターゾーンの整備に着手し、着実に整備を進めることで、「多世代の交流が広がる公園づくり」や「自然とのふれあい活動が楽しめる公園づくり」を推進して、スポーツ利用だけでなく、市民の交流やふれあい活動の場となる公園を目指します。

【事業の内容】

- ① ふるさと納税でいただいた寄附を活用し、町田GIONスタジアムの照明をLED化することで、アスリートや観戦・応援する人にとってより良い試合環境の確保と施設の省エネルギー化を図ります。
- ② パークセンターゾーンのうち、スケートパークの基本設計を行います。

【スケジュール】

	2023年度				2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月				
①町田GIONスタジアム改修(照明)	実施設計			改修工事				
②パークセンターゾーンスケートパーク整備	基本設計				実施設計	整備工事		

【主な事業費】

- ① 町田GIONスタジアム照明LED化改修工事 186,640 千円
(2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 466,598 千円)
- ② パークセンターゾーン(スケートパーク) 9,906 千円
基本設計業務委託料
- ② パークセンターゾーン(スケートパーク) 9,081 千円
測量業務委託料
- 調査委託料(自然環境調査、猛禽類調査) 15,000 千円

【主な特定財源】

- ① 都市計画事業債 142,000 千円
- ① まちだ未来づくり基金繰入金 21,630 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件名	忠生スポーツ公園整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
222,519		58,000	26,100	78,000	420	59,999

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 224、226、249 ページ

「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想(2017年度策定)」において、「さまざまな世代が憩い、体力づくりもできる広場」をコンセプトとし、子どもから高齢者までスポーツを楽しみながら体力づくりができる空間として、最終処分場等上部を利用した公園整備を段階的に進めています。

先行して整備を進めている池の辺地区では、子どもが自由に遊べる広場やバスケットボール等のスポーツもできる多目的広場を整備し、多世代が集える場として活用を図ります。今後、整備を行う峠谷地区と旧埋立地においては、散策や複数のスポーツが楽しめる場等の活用の検討を行います。

【事業の内容】

- ① 2023年9月の開園に向けて、池の辺地区の多目的芝生広場等の整備を進めます。
- ② 峠谷地区と旧埋立地の活用に向け、安全に利用できる形で閉鎖手続きを行うための方法を検討する安全検討会を行います。
- ③ 峠谷地区と旧埋立地の活用に向け、「町田市バイオエネルギーセンター周辺施設整備基本計画」の策定を行います。(策定内容：整備施設の機能及び配置、整備スケジュール、整備概算事業費等)

【スケジュール】

	2023年度				2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月				
① 公園	【池の辺地区】●開園予定 整備工事 (9月)						【峠谷地区】 基本設計・実施設計	
② 処分場	【峠谷地区・旧埋立地】 安全検討会				安全対策 工事 概略設計	安全対策 工事 詳細設計	安全対策工事 (～2028年度)	
③ 全体計画	町田市バイオエネルギーセンター 周辺施設整備基本計画策定 ★ ★ ★ ★ 忠生地区ごみの資源化施設周辺地域 整備推進検討委員会 4回開催予定				町田市バイオエネルギーセンター 周辺施設整備基本計画推進			

【主な事業費】

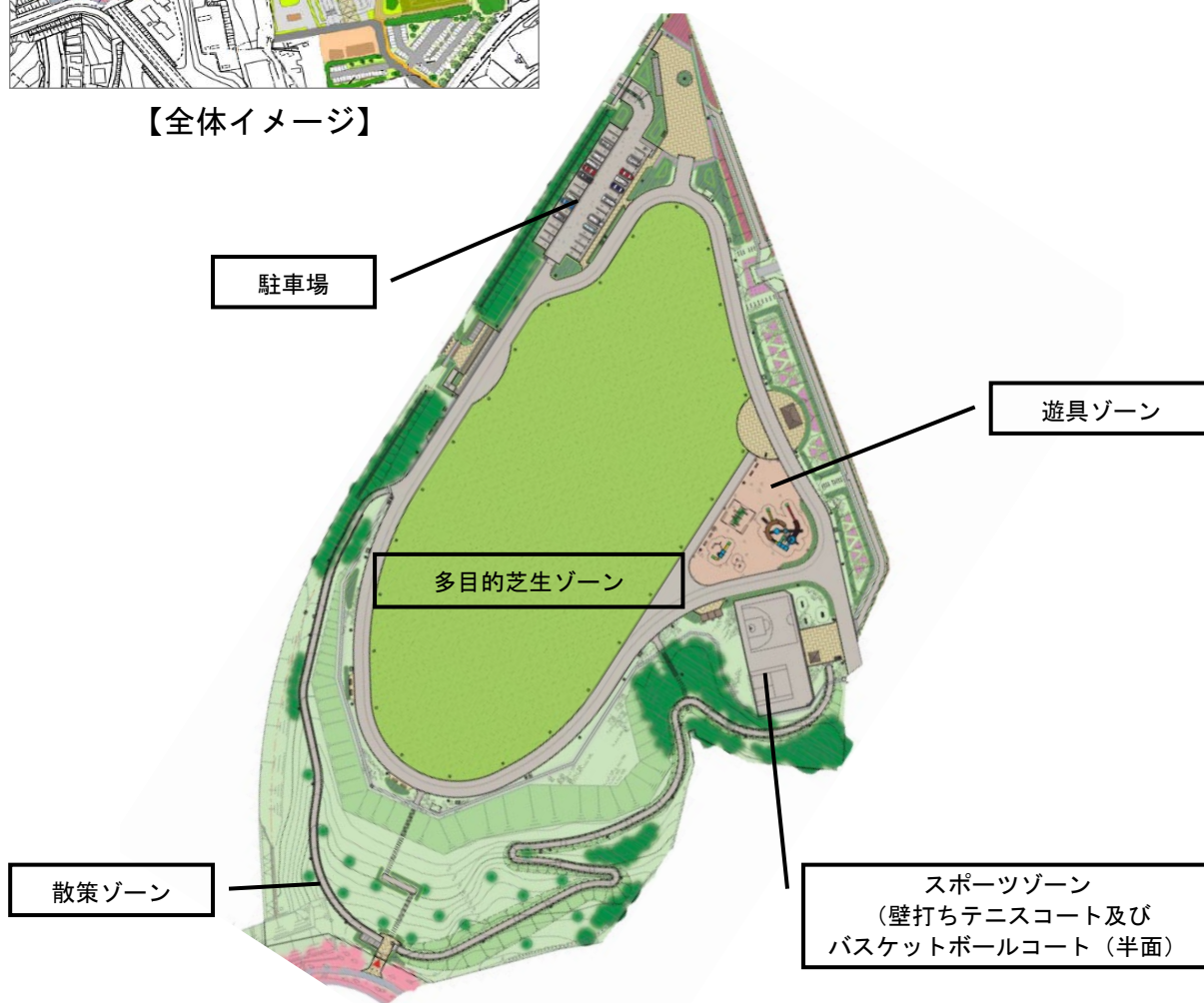
- ① 整備工事費(池の辺地区) 183,484 千円
(2022～2023年度債務負担行為事業 総事業費 436,381 千円)
- ① 建築施設工事監理業務委託料(池の辺地区) 500 千円
- ② 適正化検討業務委託料(安全検討会)(峠谷地区・旧埋立地) 20,130 千円
(2022～2023年度債務負担行為事業 総事業費 20,130 千円)
- ③ 基本計画作成委託料(全体) 9,405 千円

【特定財源】

① 社会資本整備総合交付金(国 1/2)	58,000 千円
① 都市計画費補助金(都 1/4)	26,100 千円
① 都市計画事業債	78,000 千円
① まちだ未来づくり基金繰入金	420 千円



【全体イメージ】



【池の辺地区整備イメージ】

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
	環境資源部 環境政策課長 塩澤		785-5479
	環境資源部 循環型施設管理課長 林		797-2732

件名	スポーツをする場の環境整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
56,500		0	0	0	0	56,500

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 157、249 ページ

「町田市スポーツ推進計画 19-28」に基づき、市民誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、学校跡地や予定地、高架下、調整池等の活用を図り、スポーツができる公園等として整備し、効果的・効率的な施設管理及び運営を行います。

また、2013 年度に策定した「町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想」において、健康増進関連拠点として位置づけている旧忠生第六小学校用地に、「(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ」を整備します。本事業の実施にあたっては、木曽山崎団地地区の新たな価値と魅力を実現する場として、食の健康づくり拠点となる中学校給食センターと連携した、運動の健康づくり拠点の形成を目指します。

【事業の内容】

①公園内スポーツ施設整備

2022 年度に整備工事が完了した小山上沼公園スポーツ施設については、2023 年 4 月に市民利用を開始します。また、本町田後田公園スポーツ施設、金森調節池上部スポーツ施設については、公の施設として活用するために必要な施設整備を行います。

対象施設	予定地・面積	整備内容
小山上沼公園 スポーツ施設	・小山ヶ丘 3 丁目 1-1 ・3,150 ㎡(一次調整池を含まない)	グラウンド、バスケットゴール(1 基)、 壁打ちテニス、夜間照明など
本町田後田公園 スポーツ施設	・本町田 2340-1 ・19,062 ㎡	広場、法面など
金森調節池上部 スポーツ施設	・金森 6 丁目 1407 ・約 15,000 ㎡	多目的グラウンド、広場、駐車場、 トイレなど

【小山上沼公園スポーツ施設イメージ】



【スケジュール】

	2023年度				2024年度	2025年度	2026年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月			
小山上沼公園 スポーツ施設	●4月供用開始	台帳作成					
本町田後田公園 スポーツ施設	●4月 グラウンド外一部供用開始	実施設計			法面・広場 整備工事	●全面開園 (4月予定)	
金森調節池上部 スポーツ施設		基本設計			実施設計	整備工事	●開園 (4月予定)

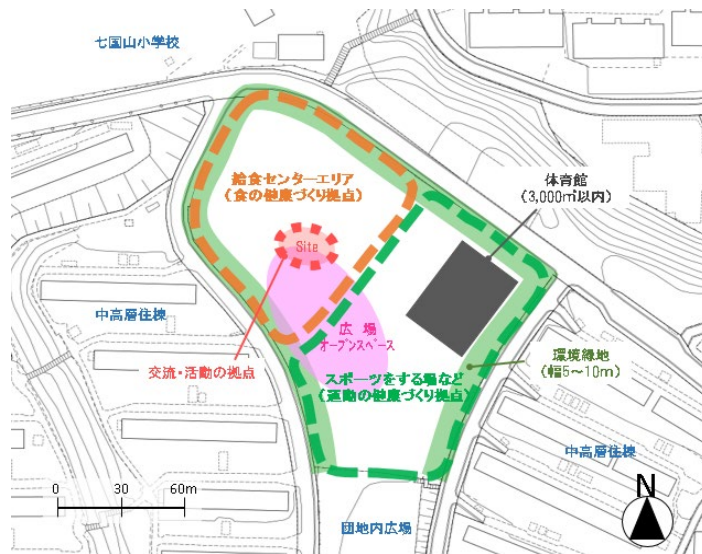
②(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ整備

「木曽山崎団地地区まちづくり構想」に基づく健康増進関連拠点整備の一環として、若者から高齢者まで、幅広い世代がスポーツ推進による健康づくりを行えるよう、2026年度の供用開始を目指して体育館等を整備します。

また、東京2020パラリンピック競技大会のレガシーである、パラバドミントンやブラインドサッカー等のパラスポーツの振興及び普及啓発を施設のコンセプトに掲げ、市民誰もがスポーツを「する」「みる」ことができる施設づくりを目指します。

2023年度は、PFI事業者の公募に向けて、専門性の高いコンサルティング業者に委託し、整備方針の検討(PFI手法導入可能性調査含む)から最適な事業手法を決定し、要求水準書の作成等を行います。

【健康増進関連拠点としての活用イメージ】



【スケジュール】

	2023年度				2024年度	2025年度	2026年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月			
(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ	コンサル ティング 業者 選定	整備方針検討 (PFI手法導入可能性調査含む) 要求水準書作成			PFI事業者 公募・選定	設計・整備工事	運営 維持 管理 ● 供用 開始

【主な事業費】

- ①本町田後田公園スポーツ施設
 - 広場基本・実施設計委託料 15,000 千円
 - 法面実施設計委託料 3,500 千円
- ①金森調節池上部スポーツ施設基本設計委託料 6,500 千円
- ①小山上沼公園スポーツ施設台帳作成委託料 2,000 千円
- ②(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ整備方針検討等委託料 22,000 千円

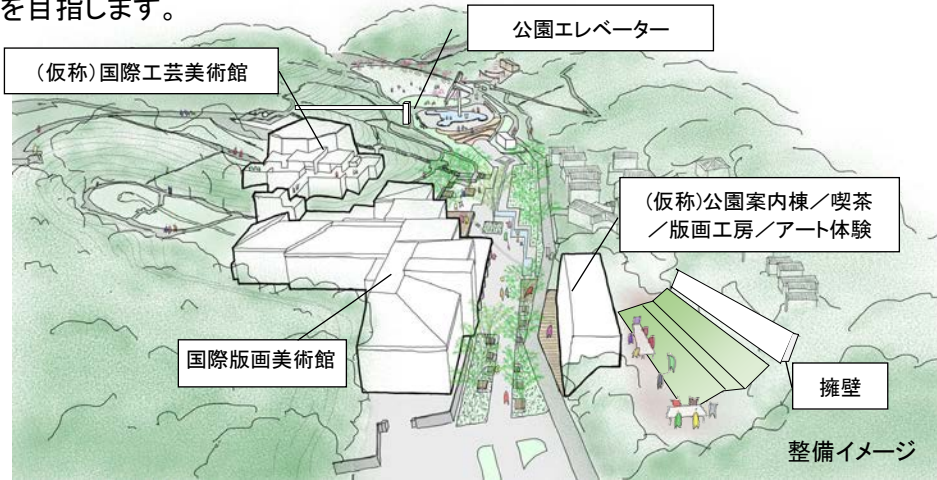
問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 高梨		724-4036

件名	芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
833,542		0	211,000	530,000	1,139	91,403

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 154、249 ページ

中心市街地に隣接する緑豊かな都市公園である芹ヶ谷公園に、(仮称)国際工芸美術館、国際版画美術館、(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟を整備することで、美術館での鑑賞だけでなく、町田の多様な文化芸術の活動、公園の豊かな自然を体験しながら学び楽しむことができる新しい体験型の公園「芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム」を整備します。公園の価値と資源を活かし、「子ども」と「体験」という新しい視点の取組みも含めて、魅力的な企画やイベントが、緑あふれる公園やまちなかと一体となって展開される状態を目指します。

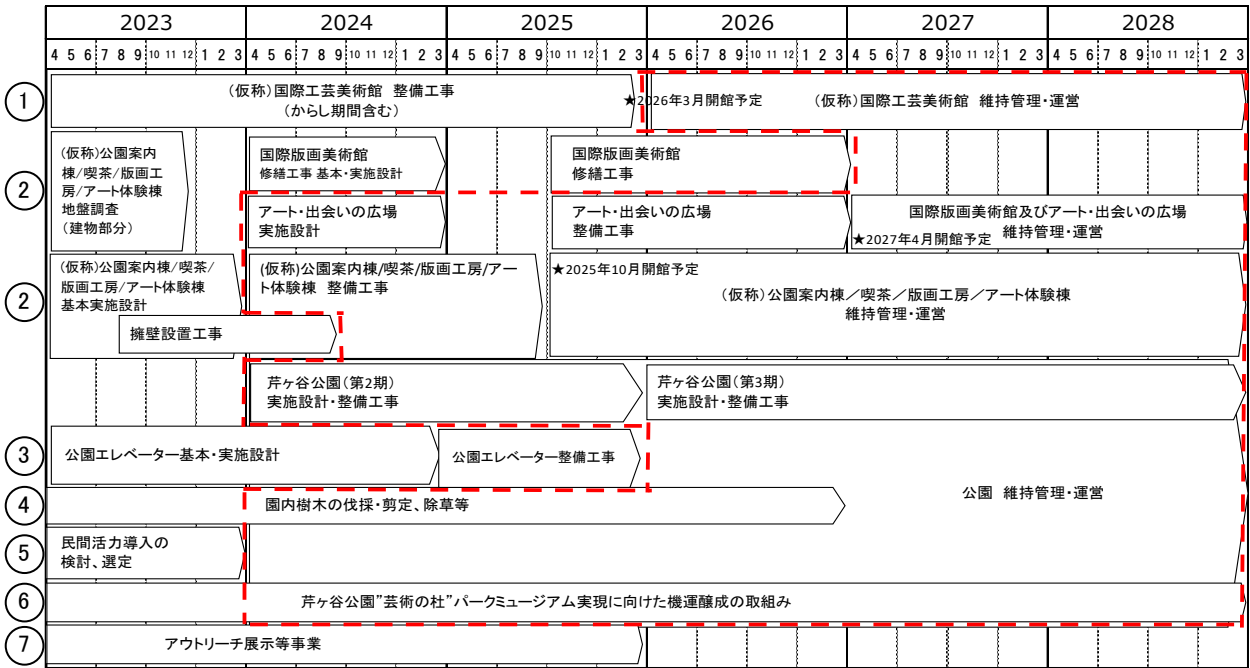


【事業の内容】

①(仮称)国際工芸美術館整備	国内有数のガラスと陶磁器のコレクションをより多くの方に鑑賞いただくため、(仮称)国際工芸美術館を整備します。国際版画美術館と互いの特徴や個性を活かした一体的な企画運営を目指します。
②(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工芸/アート体験棟整備	パークミュージアムの玄関口として、子どもから大人まで、「アート」の楽しさ、「創造」の喜び、「滞在」の心地よさを体験できる施設の設計を進めます。
③公園エレベーター整備	公園内の高低差の解消を目指して、自転車も乗り入れることができる公園エレベーターを整備します。
④芹ヶ谷公園魅力向上推進事業	樹林の適切な伐採・剪定及び除草等を行い、林相を整え、公園内の安全性の確保や自然に親しめる空間を形成することで、芹ヶ谷公園のさらなる魅力向上を目指します。
⑤民間活力導入の検討・選定事業	民間事業者の経験・技術力・ノウハウを活用し、中長期的な視点で市民と一緒に美術館と公園を育てる事業推進体制を整えるため、整備・運営事業者を選定します。2024年度以降は、パークミュージアム全体の維持管理や一部整備等を民間事業者が実施し、事業コストの削減と、より質の高い公共サービスの提供を目指します。
⑥パークミュージアム機運醸成事業	芹ヶ谷公園“芸術の杜”のコンセプトである「町田の文化と自然に出会えるパークミュージアム」を実現するため、市民や「Made_in_Serigaya(メイドイン芹ヶ谷)」でつながった方々と一緒に、芹ヶ谷公園がより愛される公園となるように育て、盛り上げていく取り組みを進めます。
⑦アウトリーチ事業	子どもも大人も楽しめる、ガラスや陶磁器の制作体験や、イベント会場でのPR、作品の展示などを実施します。

【スケジュール】

...民間活力導入の範囲



【主な事業費】

- ①(仮称)国際工芸美術館整備工事費
 (2023～2025 年度債務負担行為事業 総事業費 3,333,883 千円) 658,965 千円
- ①②芹ヶ谷公園自然環境調査業務委託料 1,540 千円
- ②(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟
 擁壁設置工事費 48,000 千円
 (2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 120,000 千円)
 基本・実施設計業務委託料 42,982 千円
 擁壁設計業務委託料 4,671 千円
 (2022～2023 年度債務負担行為事業 総事業費 68,074 千円)
- ③公園エレベーター棟整備基本・実施設計業務委託料 15,015 千円
 (2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 50,050 千円)
- ④樹木適正配置委託料 21,000 千円
- ⑤芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム民間活力導入アドバイザリー業務委託料 12,870 千円
 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム整備・運営事業委託料 0 千円
 (2023～2038 年度債務負担行為事業 総事業費 10,341,270 千円)
- ⑥パークミュージアム推進事業業務委託料 10,000 千円
- ⑦アウトリーチ関連事業費 5,105 千円

【主な特定財源】

- ①文化施設整備事業債 494,000 千円
- ②子ども・長寿・居場所包括補助事業費補助金(都 10/10) 50,000 千円
- ②都市計画事業債 36,000 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部 文化振興課パークミュージアム担当課長 戸田 文化振興課長 本吉 都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-2184 724-4397
------	---	----	----------------------

件名	町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
95,581		20,000	10,000	28,000	8,193	29,388

【事業の背景・目的】

II 部別予算概要説明書 165、217、249 ページ

町田薬師池公園四季彩の杜は、市内外からたくさんの方々が訪れる豊かな自然環境や歴史的資源を有する魅力的なエリアです。2023 年度に策定予定の「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画～Ver.2～」の検討状況を踏まえ、このエリアに何度も訪れていただけるように、各施設の整備・改修を進め、充実を図ります。

【事業の内容】

- ① リス園をさらに魅力的な施設にリニューアルするために、基本計画を策定します。また、障がいのある方が働く場としても安全維持が必要なため、改修工事を行います。
- ② 北園は、景観作物エリアや新たな体験空間の拡充を目指して、用地取得を行います。

【スケジュール】

年度	2023				2024	2025	2026	2027
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月				
全体計画	「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画～Ver.2～」の推進							
①リス園	基本計画				都市計画決定	基本設計	実施設計 用地取得	
	用地測量				安全維持 一部改修			
②北園	用地取得				基本設計	実施設計	整備工事	

【主な事業費】

- ① リス園基本計画策定支援委託料 3,871 千円
(2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 7,871 千円)
- ① 改修工事費(リス園ほか) 1,000 千円
- ② 用地購入費(北園) 62,256 千円

【主な特定財源】

- ② 社会資本整備総合交付金(国 1/3) 20,000 千円
- ② 都市計画費補助金(都 1/3) 10,000 千円
- ② 緑地保全基金繰入金 4,256 千円

問合せ先	経済観光部 観光まちづくり課長 老沼	電話	724-2128
	地域福祉部 障がい福祉課長 金子		724-2147
	都市づくり部 公園緑地課長 新		724-4397

件名	香山緑地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
86,258		0	0	61,000	0	25,258

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 249 ページ

香山緑地を、鶴川駅周辺の市街地に残された貴重な緑として保全し、都市景観の向上及び町田市観光拠点の一つとするため、池泉回遊式庭園と存在感のある書院造の建物を活かした緑地として整備します。

周辺観光施設と連携を図り、施設の魅力的な運営を行うことで、鶴川地域への来訪者の増加と、地域住民の交流の場を提供することを目指します。



香山緑地

【事業の内容】

- ① 2025年1月の開園に向けて、指定管理者を選定します。
- ② 2022年度に引き続き、既存建物の耐震・改修工事を行うとともに、トイレ棟、厨房棟を増築します。

【スケジュール】

	2023年度				2024年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
① 管理・運営	指定管理者選定 ●公募 (6月) ●選定 (12月)			運営準備				●開園 (1月予定)
② 整備	建物	既存建物耐震・改修工事						
	緑地						庭園工事	

(凡例) 指定管理者主体

【主な事業費】

- ② 既存建物耐震・改修工事費 76,086 千円
(2022～2024年度債務負担行為事業 総事業費 380,429 千円)
- ② 工事監理委託料 6,104 千円
(2022～2024年度債務負担行為事業 総事業費 12,209 千円)

【特定財源】

- ② 都市計画事業債 61,000 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件名	(仮称) 蓮田緑地整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
314,056		55,800	61,700	153,000	9,864	33,692

【事業の背景・目的】

II 部別予算概要説明書 249 ページ

蓮田緑地は、鶴見川流域の里山の風情が残る風光明媚な場所であり、2023年4月に駐車場エリアをプレオープンします。小山田神社周辺に広がる大賀蓮の魅力を活かし、自然と水辺に親しめる憩いの場として誰もが快適に過ごせる観光名所・地域資源となるように公園緑地として整備します。



【事業の内容】

2025年4月の開園に向けて、用地取得及び整備工事を行います。

【スケジュール】

	2023年度				2024年度	2025年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月		
管理・運営	プレオープン					●開園(4月予定)
用地取得	用地取得					
緑地整備		整備工事				
	施設新築基本・実施設計					

【主な事業費】

用地購入費	110,935 千円
整備工事費	183,200 千円
(2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 458,000 千円)	
施設新築基本・実施設計業務委託料(休憩棟)	5,490 千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金(国 1/3・1/2)	55,800 千円
生産緑地買取事業費補助金(都 1/3)	28,800 千円
市町村総合交付金(都)	22,000 千円
都市計画費補助金(都 1/3・1/4)	10,900 千円
都市計画事業債	153,000 千円
緑地保全基金繰入金	9,864 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件名	(仮称) 大戸広場整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
304,609		0	61,000	166,000	59,271	18,338

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 249 ページ

相原地区の資源ごみ処理施設整備に伴う周辺の環境整備を促進するため、「(仮称)大戸広場基本計画(2021年度策定)」に基づき、既存の緑地を活かしながら、地域交流を深める憩いの場として(仮称)大戸広場を整備します。

【事業の内容】

2026年4月の開園を目指して、用地を取得するとともに、整備に係る実施設計及び地質調査等を行います。

【スケジュール】

	2023年度				2024年度	2025年度	2026年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月			
(仮称) 大戸広場 整備	入札 手続	実施設計			整備工事		
		地質調査			建築施設 設計業務	建築工事 工事監理	●開園 (4月予定)
用地取得							



(仮称)大戸広場イメージ図

【主な事業費】

用地購入費	252,525 千円
実施設計業務委託料	31,758 千円
物件等補償料	10,746 千円
地質調査業務委託料	5,580 千円

【特定財源】

都市計画費補助金(都 1/2)	61,000 千円
都市計画事業債	166,000 千円
緑地保全基金繰入金	59,271 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件名	忠生 630 号線・忠生 579 号線整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
333,835		0	61,950	222,000	0	49,885

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 235 ページ

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路を補完する準幹線道路を整備します。

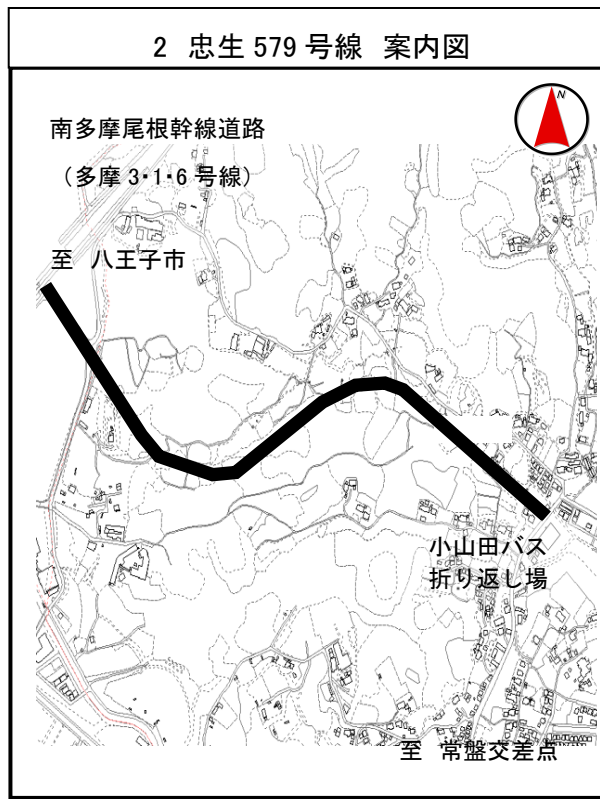
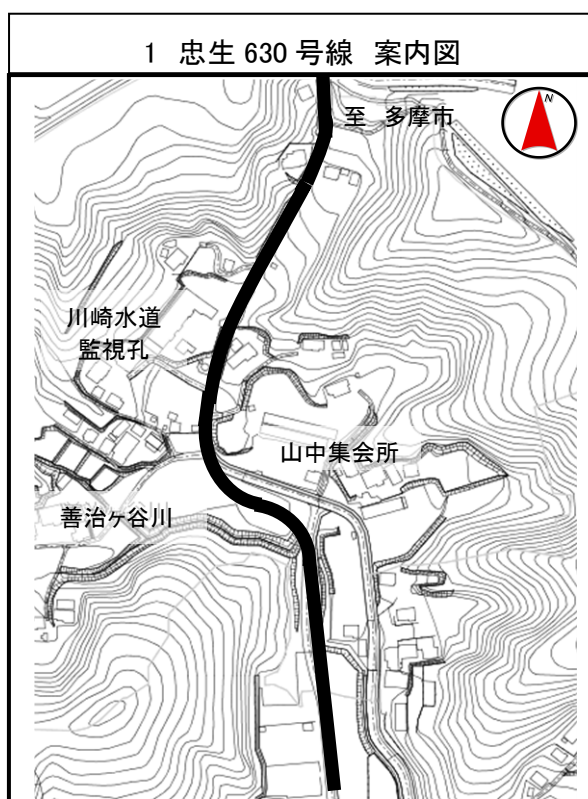
【事業の内容】

1 忠生 630 号線(事業延長 650m)

公共交通機関の充実や増加する交通量への対応及び安全性向上などを図るため、2023 年度末の開通を目指して拡幅整備を行います。

2 忠生 579 号線(事業延長 1,300m)

北部丘陵地域に位置する小山田地区の交通利便性、安全性及び生活環境の向上を図るため整備します。



【主な事業費】

- 1 道路改良工事費 226,000 千円
(2022～2023 年度債務負担行為事業
総事業費 450,000 千円)
- 1 接続部工事費 60,000 千円
- 2 予備設計委託料 8,970 千円

【主な特定財源】

- 1 道路橋梁費補助金（都 1/2） 53,100 千円
- 1 道路整備事業債 209,000 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 市川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件名	都市計画道路築造事業					
予算額(単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,955,428		105,407	291,553	620,000	703,975	234,493

Ⅱ 部別予算概要説明書 237 ページ

【事業の背景・目的】

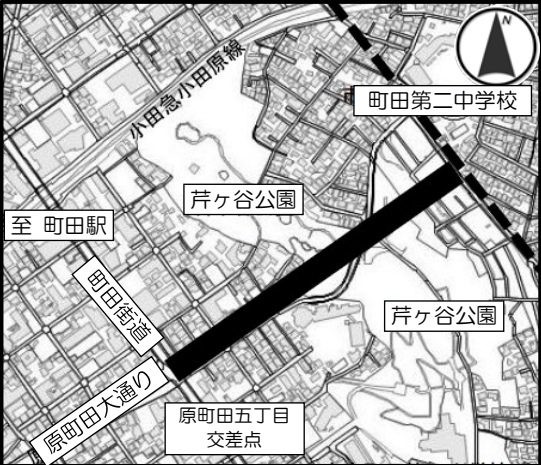
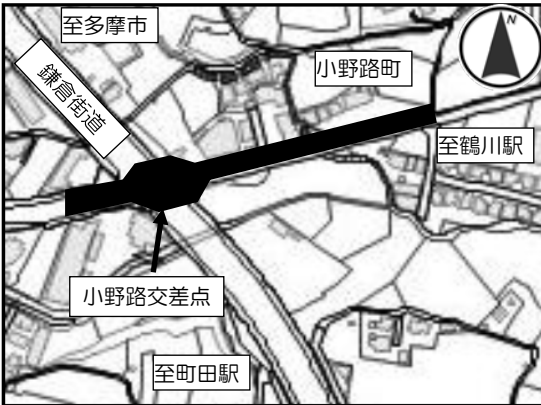
円滑に移動できる道路ネットワークを構築するため、「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」で選定された道路や、東京都と連携・協力して整備を行う「第3次みちづくり・まちづくりパートナー事業」に採択された都市計画道路の整備を進めます。

また、鶴川駅周辺再整備基本方針に基づき、鶴川駅北口広場及び鶴川駅南北自由通路の整備を進めます。

全体図

単位:千円

箇所番号	事業箇所	事業費	事業内容
①	都計道3・3・7(成瀬) 【成瀬街道】	305,188	【第3次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 成瀬コミュニティセンター前交差点付近の整備を行います。2023年度は用地取得等を行います。
②	都計道3・4・11(原町田) 【原町田大通り】	180,290	【第3次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 町田街道の原町田五丁目交差点から都計道3・3・36号までの整備を行います。2023年度は物件調査、景観設計等を行います。
③	都計道3・4・22(小野路) 【大蔵小野路線】	251,717	【第3次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 小野路交差点付近の整備を行います。2023年度は用地取得及び道路・橋梁・電線共同溝の詳細設計等を行います。
④	都計道3・4・41(小山) 【多摩ニュータウン通り】	453,183	小山町と相模原市を繋ぐ橋梁(多摩ニュータウン通り延伸部)整備を行います。2023年度は橋梁工事(相模原市施行)及び交差点改良工事(町田市施行)を行います。
⑤	都計道3・4・49(相原町) 【相原南北通り】	86,500	相原町と相模原市を繋ぐ南北道路の整備を行います。2023年度は詳細設計(相模原市施行)及び用地取得を行います。
⑥	都計道3・4・19(矢部) 【矢部園師線】	11,802	矢部町と相模原市を繋ぐ宮前橋の橋梁整備を行います。2023年度は橋梁工事積算支援業務委託及び迂回路用地の借上げを行います。
⑦	都計道3・4・34(南大谷) 【本町田金森線】 都計道3・4・9(成瀬) 【成瀬けやき通り】	15,198	成瀬三ツ又交差点から南大谷交差点までの整備を行います。2023年度は事業認可の取得に向けて路線・用地測量委託等を実施します。
⑧	鶴川駅北口広場 鶴川駅南北自由通路	651,550	鶴川駅北口において、安全で便利な交通結節点とするため、北口広場の再編・整備を行います。また、鶴川駅南北の連絡性向上のため鶴川駅南北自由通路の整備を行います。2023年度は北口広場の街築工事・バスシェルター設置工事・南北自由通路の整備工事等を行います。

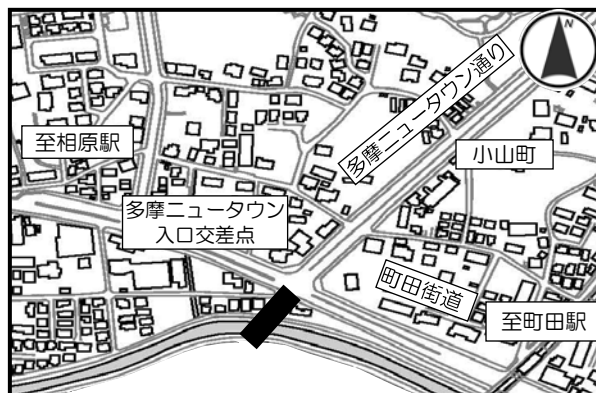
件名	都市計画道路築造事業	
【事業の内容】		
① 都計道 3・3・7(成瀬)【成瀬街道】		
<p>成瀬街道の成瀬コミュニティセンター前交差点の東西約 110m の区間を整備するものです。本事業によって現道の幅員 12～13m を 22～25m(両側歩道 3.5m)に拡幅整備し、交通の円滑化を図ります。(事業規模:延長約 110m 幅員 22～25m)</p> <p>2023 年度は用地取得等を行います。</p>		
【主な事業費】	物件等補償料	175,393 千円
	用地購入費	114,995 千円
【主な特定財源】	東京都受託収入	290,388 千円
		
<p>都計道 3・3・7 (都整備予定路線)</p>		
② 都計道 3・4・11(原町田)【原町田大通り】		
<p>原町田大通りを北東に延伸し、町田街道の原町田五丁目交差点から東京都が施行する都市計画道路 3・3・36 号に接続する約 520m の区間を整備するものです。本事業によって道路ネットワークの構築・交通の円滑化及び中心市街地の回遊性を高め、町田駅周辺のまちづくりを推進します。(事業規模:延長約 520m 幅員 25～41m)</p> <p>2023 年度は物件調査・景観設計等を行います。</p>		
【主な事業費】	物件調査・積算委託料	24,000 千円
	景観設計委託料	15,000 千円
【主な特定財源】	東京都受託収入	24,000 千円
		
<p>都計道 3・4・11(原町田) </p> <p>都計道 3・3・36 (都整備予定路線) </p>		
③ 都計道 3・4・22(小野路)【大蔵小野路線】		
<p>小野路交差点の東西約 300m の区間を整備するものです。本事業によって現道の幅員を 8m から 16m(両側歩道 3.5m)に拡幅整備し、交通の円滑化を図ります。(事業規模:延長約 300m 幅員 16m)</p> <p>2023 年度は用地取得及び道路・電線共同溝・橋梁等の詳細設計等を行います。</p>		
【主な事業費】	物件等補償料	130,900 千円
	用地購入費	58,319 千円
	道路等詳細設計委託料	44,643 千円
【主な特定財源】	東京都受託収入	222,642 千円
		

④ 都計道 3・4・41(小山)【多摩ニュータウン通り】

八王子市から相模原市を結ぶ南北道路ネットワークを構築する都市計画道路であり、本事業によって相模原市方面のアクセス性向上及び町田街道の慢性化した渋滞の緩和を図ります。(事業規模:延長 50m 幅員 18m)

2023 年度は橋梁工事(相模原市施行)・交差点改良工事(町田市施行)を行います。

【主な事業費】	整備等負担金	393,183 千円
	(橋梁工事費(相模原市施行))	
	整備工事費	56,000 千円
【特定財源】	都市計画費補助金	73,500 千円
	(都 1/2)	
	都市計画事業債	313,000 千円

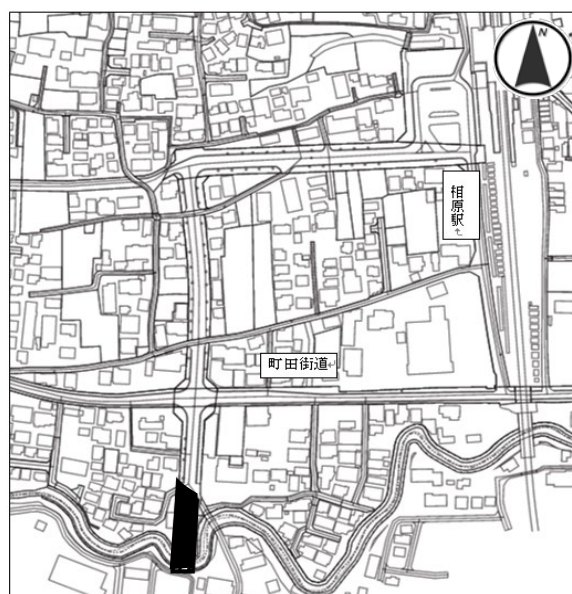


⑤ 都計道 3・4・49(相原町)【相原南北通り】

八王子市から相模原市を結ぶ南北道路ネットワークを構築する都市計画道路であり、相原駅西口広場と相模原市の都市計画道路とを接続することで、駅周辺のまちづくりの推進及び周辺道路の渋滞緩和を図ります。(事業規模:延長約 120m 幅員 16m)

2023 年度は橋梁の詳細設計・用地取得等を行います。

【主な事業費】	物件等補償料	54,348 千円
	用地購入費	23,359 千円
	整備等負担金	5,000 千円
	(橋梁詳細設計(相模原市施行))	
【特定財源】	都市計画費補助金	25,350 千円
	(都 1/2)	
	都市計画事業債	27,000 千円



⑥ 都市計画道路 3・4・19(矢部)【矢部図師線】

町田市と相模原市を結ぶ道路ネットワークを構築する都市計画道路であり、宮前橋を整備することで、交通の円滑化と歩行者通行の安全性向上を図ります。

(事業規模:延長約 24m 幅員 16m)

2023 年度は橋梁設計を行います。

【主な事業費】	橋梁設計委託料	10,800 千円
---------	---------	-----------



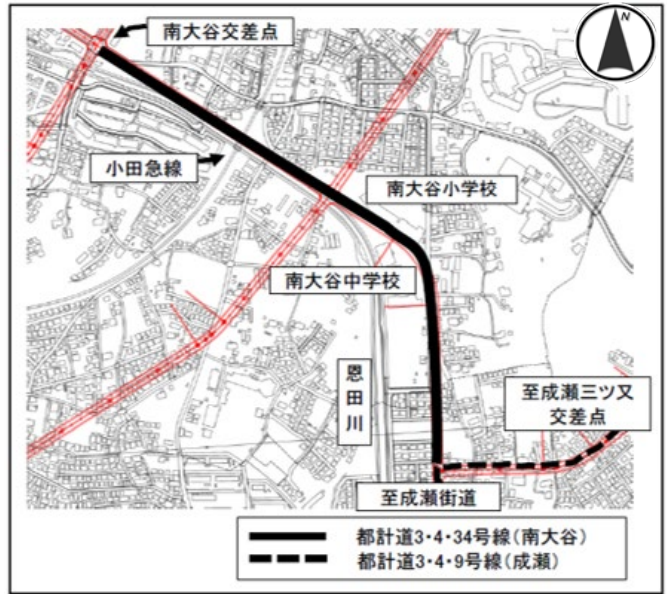
⑦ 都計道 3・4・34(南大谷)【本町田金森線】

都計道 3・4・9(成瀬)【成瀬けやき通り】

南大谷交差点から小田急線をアンダーパスし、南大谷小・中学校の間を抜け、市立成瀬うさぎ谷戸公園西側までを整備します。本事業によって成瀬三ツ又交差点から南大谷交差点までの周辺道路の渋滞緩和を図ります。(事業規模:延長約 1,290m 幅員 16m)

2023 年度は用地・路線測量等を行います。

【主な事業費】	測量委託料	9,108 千円
	予備設計委託料	4,670 千円



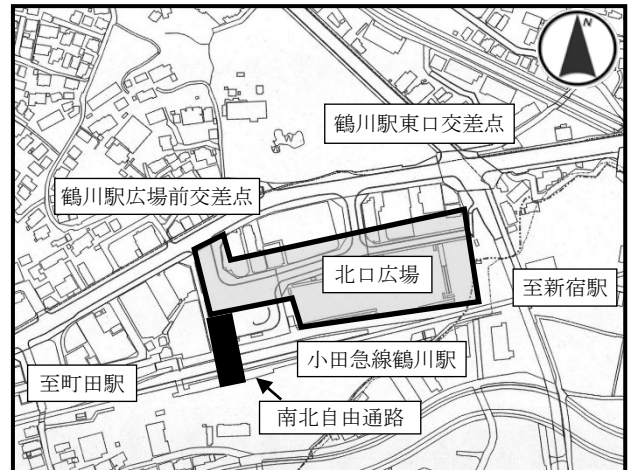
⑧ 鶴川駅北口広場・鶴川駅南北自由通路

(「鶴川駅周辺街づくり事業(50 ページ)」から再掲)

鶴川駅北口において安全で便利な交通結節点とするため、北口広場の再編・整備を行います。

また、鶴川駅南北の連絡性向上のため鶴川駅南北自由通路の整備を行います。(事業規模:北口広場 8,200 m² 自由通路 延長約 120m 幅員 10.5m)

2023 年度は北口広場の街築工事・バスシェルター設置工事・南北自由通路の整備工事等を行います。



【主な事業費】	北口広場整備工事費	285,748 千円
	南北自由通路整備等負担金	205,567 千円

(支障移設工事(小田急電鉄株式会社施行))

(2023～2028 年度債務負担行為事業 総事業費 3,336,012 千円)

【主な特定財源】	防災・安全交付金(国 1/2)	82,007 千円
	都市計画費補助金(都 1/4)	41,003 千円
	都市計画事業債	265,000 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 市川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件名		地域交通推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
93,966			0	0	0	648
【事業の背景・目的】		Ⅱ 部別予算概要説明書 247 ページ				
<p>町田市は、鉄道駅が市域の外縁部に位置していることから、日常的な移動手段としてバスが大きな役割を担っており、バス交通の利便性や快適性の維持・向上が重要です。</p> <p>加えて、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて働き方や学び方が変わり、自宅や近所で過ごす時間が増加していることから、地域内の外出をより快適にするための環境づくりが求められています。町田市都市づくりのマスタープラン方針編(交通)では、3つの施策のひとつとして「地域の中を快適に移動できる「小さなゆったりとした」交通を生み育てる」を掲げており、その実現に向けては多様な主体が連携し、地域全体で交通を支えていくことが必要となっています。</p> <p>これらの状況に対応するため、地域やバス事業者と協働した地域コミュニティバス等の運行や新たな地域交通の導入に向けた検討、バス事業者と連携したバス待ち環境の改善に取り組みます。</p> <p>また、町内会・自治会、福祉団体、交通事業者等、地域の移動の担い手が協働して行う、高齢者等の地域内での移動を支える取組への支援を行います。</p>						
【事業の内容】						
① 地域コミュニティバス運行事業						
<ul style="list-style-type: none"> ・玉川学園地区コミュニティバス「玉ちゃんバス」、金森地区コミュニティバス「かわせみ号」の運行に必要な経費を補助します。 ・地域の支え合いによる移動の取組に係る費用の一部について補助します。 						
② 路線バス利用促進事業						
<ul style="list-style-type: none"> ・道路幅員が狭く路線バスの運行ができない交通不便地域への将来的なバス事業者による新規路線導入を目指し、現在運行している小山田桜台・多摩南部地域病院間の小型バス運行事業に必要な経費を補助します。 ・バス停の上屋、ベンチを設置するバス事業者に対して経費の一部を補助するとともに、交差点や横断歩道至近にある危険なバス停の改善に向けて必要な道路改修等を実施します。 						
【主な事業費】						
① 地域コミュニティバス運行事業補助金		38,354 千円				
① 支え合い交通事業補助金		2,250 千円				
② 小山田桜台・多摩南部地域病院間小型バス運行事業補助金		42,770 千円				
② 改修工事費(危険バス停改善に必要な道路改修工事等)		5,812 千円				
② バス利用促進等総合対策事業補助金		3,700 千円				
【特定財源】						
①② 広告掲載料		648 千円				
問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 北川			電話	724-4260	

件名	新たな図書館づくり推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
25,417		0	15,070	0	0	10,347

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 305 ページ

市では、「あらゆる市民が利用しやすい図書館」「子どもの読書活動を充実させる図書館」「地域のコミュニティ形成を支援する図書館」「地域の課題や社会状況の変化に対応する図書館」という、4つのめざす姿の実現に向けて、その実行計画である「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、取組を進めています。そうした中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、デジタル化を中心とした暮らし方の大きな変化がもたらされる一方、対面でのコミュニケーションや地域との関わりなど、人と人とのつながりの大切さが再認識されています。

このような社会状況の変化に対応するため、地域と「共に創り」「共に運営する」体制の構築や、図書館サービスのデジタル化、暮らしに合わせた本に触れる機会の提供を進めます。

【事業の内容】

1 ワタシが主役の図書館づくりの推進

図書館再編をきっかけとして、鶴川図書館を地域と「共に創り」「共に運営する」図書コミュニティ施設へと転換するため、地域住民を主体とした運営団体の設立、施設の軽微な改修、運営団体によるイベントを実施します。

2 新たな図書館様式の推進

- ① 24時間365日利用することができる電子書籍サービスを提供し、併せてコンテンツの充実を図ります。
- ② デジタルデバイス解消に向けた講座や、デジタル端末の個別相談会などを中央図書館で実施します。
- ③ 暮らしの中で本に触れる機会を増やすため、市立図書館の予約図書受渡場所を1ヶ所新設します。

【スケジュール】

年	2023						2024					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ワタシが主役の図書館づくりの推進	運営団体設立に向けた準備						●団体設立					
	イベントの企画・検討・準備						イベントの実施			施設改修		
	地域との意見交換											
新たな図書館様式の推進	① 電子書籍サービスの提供・コンテンツの充実											
	② デジタル支援講座・デジタル端末個別相談会の実施(中央図書館)											
	③ 受渡場所の新設											

【主な事業費】

1 図書コミュニティ施設運営体制構築業務委託料	6,710 千円
団体設立後の運営に関する業務委託料	2,090 千円
2 電子書籍コンテンツ使用料	13,475 千円
電子書籍システム使用料、デジタル端末利用支援業務委託料など	1,595 千円
システム改修費(受渡場所の新設)	1,100 千円

【特定財源】

2 子ども・長寿・居場所包括補助事業費補助金(都 10/10)	15,070 千円
---------------------------------	-----------

問合せ先	生涯学習部 図書館長 中嶋	電話	728-8220
------	---------------	----	----------

件名	地域回遊イベント事業（まちだ謎解きゲーム第3弾）					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
29,634		0	5,000	0	0	24,634

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 217 ページ

2022 年度に市内の観光拠点や商店街への来訪促進を目的に実施した地域回遊イベント「まちだ謎解きゲーム」は、累計 1 万人以上が参加し、特に若い世代に対して町田市の魅力発信をする機会となりました。



まちだ謎解きゲーム 2 ポスター画像

「謎解きのまち」としての知名度向上を追い風に、新たな回遊型謎解きイベントを実施することで、市内外からのさらなる来訪を促し、より多くの方に観光拠点を回遊していただくことで、町田市の魅力を発信します。

また、参加者がイベント中に感じた町田市の魅力をアンケート調査した結果から、新たな地域素材を発掘し、観光施策の拡充につなげます。

【事業の内容】

「まちだ謎解きゲーム」の第 3 弾を、2023 年秋に開催します。また、2023 年夏ごろに第 3 弾開催に向けた機運向上のサブイベントを実施するとともに、ウェブ媒体や SNS でイベント告知情報を拡散し、市内外からの参加を促進します。

【スケジュール】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イベント				サブイベント			第 3 弾開催					
告知		実施				実施			実施			

【事業費】

まちだ謎解きゲーム業務委託料 29,634 千円

【特定財源】

観光まちづくり推進支援事業補助金（都） 5,000 千円

問合せ先	経済観光部 観光まちづくり課長 老沼	電話	724-2128
------	--------------------	----	----------